



ひらかわフェスタ 2026 に出店 津軽の桃など特産品を販売

8月29日と30日、ひらかドームで「ひらかわフェスタ2026」が開かれ、当JAも出店しました。

会場では、当JAの特産品で「津軽みらい農協もも生産協議会」の生産者が栽培した「津軽の桃」をはじめ、産直センターひらかから季節の野菜や果物の販売を行いました。また当JAと交流協定を締結している鹿児島県南九州市の南さつま農業協同組合も出店し、知覧茶や紅茶、さつま芋など特産品を販売しました。

なかでも「津軽の桃」の販売ブースには販売開始前から多くのお客様が訪れ、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりとなりました。



産直センターひらかの出店



南さつま農業協同組合の出店



津軽の桃を買い求める来場者



津軽の桃販売会場



ウェイトリフティング体験会で補助をするJA職員(右)



みなみ・石川・尾上地区りんご共防連 役員合同研修会

8月25日、さるか荘で、「みなみ・石川・尾上地区りんご共防連役員合同研修会」が行われ、3地区の役員16人が参加しました。

研修会では救命研修、りんご農薬説明会、交流会が行われました。

救命研修では弘前地区消防事務組合平川消防署を講師に招き、心肺蘇生法やAEDの使用法のほか、熱中症の予防・対処法についても学びました。

りんご農薬説明会では、農薬メーカー 7社がそれぞれの農薬について説明を行いました。

研修後には交流会も行われ、参加者同士が親睦を深めながら、各地区の活動やりんご栽培について情報交換を行いました。



救命研修で心肺蘇生について学ぶ参加者



農薬メーカーの説明を聞く参加者